



# 里海ガイド養成講座（基礎編） 開催しました！



- 日時：4月23日（土） 9:00～16:30（1日目）  
4月24日（日） 9:00～16:30（2日目）  
5月14日（土） 9:00～16:30（3日目）  
5月15日（日） 9:00～17:00（4日目）
- 会場：交流の里おうごし（坂出市王越町）／1、2日目  
津田公民館北山分館（さぬき市津田）／3、4日目
- 講師：小前 昭二氏（Free Cloud 代表）松野 陽平氏（絆創工房代表）
- 受講者数：9名

## 実施内容

ガイドに必要な基礎知識を、フィールドにおける体験と対話を通して学ぶ「里海ガイド養成講座（基礎）」を全4回で開催しました。受講生は海でクリーンアップイベントを開催している方や実際にガイド経験のある人、主婦など、様々な立場の方の参加がありました。

### ◆プロガイド（講師）によるツアー体験

最初に講師が手本となるようにガイド役を務めて、受講生にツアー体験してもらいました。ツアー体験では、海辺に漂着しているカンカン石（サヌカイト）を探すアクティビティで、受講者は金槌片手に海を眺めながら漂着している石を叩いて音の違いを楽しみながら、お気に入りのカンカン石を見つけていました。

体験した後は、どのような方法に留意しながらガイドをしていたのかを受講生と講師が一緒に考え、その後に講師から意図開きと解説がありました。地域の特徴やフィールドにある素材の活かし方（例：カンカン石）やリスクマネジメント（例：活動範囲、タイムマネジメントなど）を考えて実施するのがポイントのようです。



講師によるガイド体験



海辺でカンカン石を探す

#### ◆アイスブレイク講座、実施

ツアーなどの参加者で初めて会う人同士だとは硬い雰囲気があります。そこで、この硬い雰囲気を柔らかくするための方法としてアイスブレイクが紹介されました。講師から、その方法や注意点を聞いた後、受講生が宿題として考えてきていたアイスブレイクにチャレンジしました。

ここでも、講師から実施方法や実施の注意点を聞いてから、受講生自身が実践することでアイスブレイクの必要性や方法を学んでいたように感じました。



アイスブレイクの実施方法を紹介



アイスブレイクに挑戦

#### ◆リスクマネジメント、フィールドチェック

リスクマネジメントの講習でも、「リスク」と「ハザード」の違いやこれらの予見と回避方法について講師から基本的な考え方を聞いた後に、どのような方法でツアー中の事故やトラブル回避するかについて事象事例を参考に考えたり、フィールド（会場近くの海岸）へ行ったりして考えたりしました。

リスクマネジメントの考え方を聞き、自分たちでフィールドに潜む危険を確認してみる実習が受講生にとっては分かりやすかったようです。



リスクマネジメントの考え方について



リスクマネジメント、フィールドチェック

#### ◆アクティビティづくり、アクティビティ実施

受講者は、これらの内容を学んだ後に、3グループに分かれて、アクティビティづくりを行いました。里海を楽しく体験することを目的として、フィールドを確認しながら、より活動目的に適した場所やアクティビティを各グループで考えて実施しました。

受講生によるアクティビティの披露では、アクティビティを実施していない受講生と講師は参加者役として体験をして、内容で「良かった点や改善点」について意見を聞き、より良い内容への改善につながるフィードバックを行いました。



アクティビティの説明



アクティビティデザインの説明



アクティビティ実施 王越（漂着物でビンゴ）



アクティビティ実施 津田（磯観察と貝の試食）

#### ◆新たな講座修了生の誕生

体験と実践に重きをおいた4日間の講座が終了し、カリキュラムを無事に修了した9人が新たな里海ガイド養成講座（基礎）修了生となりました。

実際に何らかの形で人に伝える活動をしている受講生が多かったので、今後、受講生が活動する中で里海の魅力を発信するなど新たな里海ガイドの展開も期待できそうです。



ふりかえり



修了証と集合写真